

## [研究業績]

### I. 「模擬社会ゲーム」に関するもの（国内の学会発表を除く）

- ① W. A. Gamson (1978) 『SIMSOC : Coordinator's manual』 3rd. ed. The Free Press  
門田幸太郎、木村昌幸、清水徇、広瀬幸雄との共訳 (1985)  
『SIMSOC 進行係用マニュアル I、II』、立命館文学 第 478 ~ 480 号
- ② W. A. Gamson (1978) 『SIMSOC : Participant's manual』 3rd. ed. The Free Press  
門田幸太郎、木村昌幸、清水徇、広瀬幸雄との共訳 (1985)  
『SIMSOC 参加者用マニュアル』、立命館文学 第 475 ~ 477 号
- ③ 福田市朗他 (1985) 『社会的システムのシミュレーション—SIMSOC の概要と試験的  
実施』、立命館文学 第 475 ~ 477 号
- ④ 福田市朗 (1992) 『模擬社会の展望』、中研所報 第 26 号 No.3
- ⑤ I. Fukuda (1992) 『Characteristics of Social Behaviors in SIMSOC games』、  
International Journal of Psychology (abstract)
- ⑥ 福田市朗 (1994) 『社会変革における人間の位置』、経営情報研究 Vol.1 No.1
- ⑦ 福田市朗 (1995) 『模擬社会ゲームの教育的意義』、経営情報研究 Vol. 2 No.2
- ⑧ I. Fukuda (1997) 『A comparative study on the development of SIMSOCs in Japan  
and USA』、第 2 回アジア社会心理学会 京都 (abstract)
- ⑨ 福田市朗 (1998) 『模擬社会における個人と社会の関係について』、経営情報研究  
Vol.6 No.1

### II. 知覚研究に関するもの（国内の学会発表を除く）

- ① 福田市朗 (1982) 『暗室条件下における 3 次元的仮現運動を規定する距離要因』、心  
理学研究 第 53 卷 第 1 号
- ② I. Fukuda (1983) 『 Effects of the onset and the energy of stimulus on the letter  
recognition in metacontrast and paracontrast』、BRIEF REPORT from the  
Laboratory of Psychology Vol. 20
- ③ 福田市朗 (1985) 『運動の知覚—その心理学的研究の行方』、人文 31 卷、京都大学  
教養部
- ④ 福田市朗 (1991) 『視知覚論—生物学的な行為としての知覚』、撰大学術 Ser.B No.9
- ⑤ 福田市朗 (1991) 『運動残効から見た運動視の諸問題』、中研所報 (大工大) 第 23 卷  
No.3
- ⑥ 福田市朗 (1992) 『視知覚論 (2) —視覚的認識の形成』、撰大学術、Ser.B No.10
- ⑦ 福田市朗 (1995) 『視知覚論 (3) —知覚研究における現象論について』、経営情報研  
究 Vol.3 No.1

Ⅲ. 意思決定とゲームに関するもの(国内の学会発表を除く)

- ① 福田市朗(1999)『公正さに関する認知的特性の検討』、経営情報研究 Vol.6 No.2
- ② 福田市朗(1999)『意思決定における思考作業の実験的検証』、経営情報研究 Vol.7 No.1
- ③ I. Fukuda(2000)『Examination of two types of thinking in making decisions in the dyad game of “Jan-ken”』、International Journal of Psychology (abstract)
- ④ 福田市朗(2002)『道徳的な意思決定における思考作業に関する研究』、経営情報研究 Vol.9 No.1
- ⑤ 福田市朗(2003)『意思決定理論における心理学的アプローチ』、経営情報研究 Vol.10 No.2
- ⑥ 福田市朗(2004)『Ultimatum gameにおける戦略決定の合理性と公正さの認識について』、経営情報研究 Vol.11 No.2
- ⑦ I. Fukuda, J. Shimizu & M. Yamamoto(2006)『Effectiveness of intuition on decision-making in zero sum games』、第26回国際応用心理学会 (abstract)
- ⑧ J. Shimizu, I. Fukuda & M. Yamamoto(2006)『My decision is better than computer's: An experience on illusion control』、第26回国際応用心理学会 (abstract)
- ⑨ J. Shimizu, I. Fukuda & M. Yamamoto(2007)『Two-stage decision making in the Monty Hall dilemma』、第10回ヨーロッパ心理学会 (abstract)
- ⑩ I. Fukuda, J. Shimizu & M. Yamamoto(2008)『How do player decide rational strategies in actual games?』、International Journal of Psychology (abstract)

付記：[本学における職歴と地域活動について]

I. 本学における職歴

平成元年 4月	経営情報学部経営情報学科	助教授
平成4年 4月	経営情報学部経営環境情報学科	助教授
平成7年 4月	経営情報学部経営環境情報学科	教授
	大学院経営情報学研究科	教授
平成18年4月	経営情報学部経営情報学科	教授
平成22年4月	経営学部経営情報学科	教授
平成24年4月	経営学部経営学科	特任教授

< 役職 >

平成13年4月(～17年3月)	経営環境情報学科長
平成20年4月(～22年3月)	経営情報学科長

平成 24 年 4 月（～ 26 年 3 月） 地域連携センター長

平成 26 年 4 月（～ 30 年 3 月） 図書館長

## Ⅱ. 地域活動

(財) 寝屋川市保健福祉公社 理事 平成 20 年 11 月～平成 24 年 3 月

(公財) 寝屋川市保健福祉公社 評議員 平成 24 年 4 月～平成 30 年 3 月

寝屋川市介護認定審査委員会委員 平成 21 年 4 月～平成 25 年 3 月

枚方市社会教育委員会委員 平成 26 年 9 月～平成 29 年 8 月

